



グラフ描画ツール「GeoGebra」のすすめ

～数学系向け～

ここでは、グラフ描画ソフトとして用いられるGeoGebraの活用例を紹介します。GeoGebraは中学生でも簡単に操作できるツールであり、ICT教育の導入として注目が集まっています。大学生の皆さんは、大学で行う模擬授業、もしくは難しい問題を解く際に使ってみるのはいかがでしょうか。

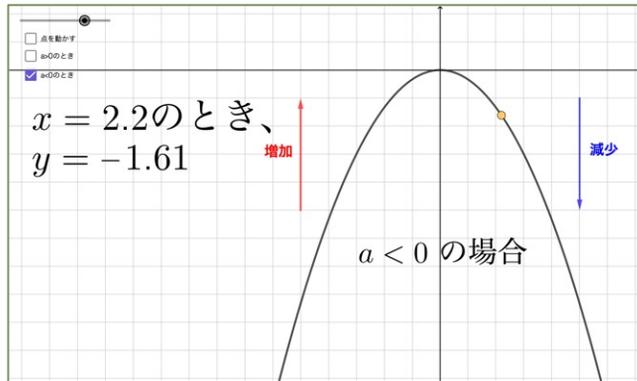
●GeoGebraの起動について

GeoGebraは、パソコン、タブレット、スマホ等を使ってweb上で起動できます。基本的に登録不要かつ無料です。非営利的な利用（学校教育を含む）であれば、自由にコピー、配布、送信が可能です。教材のURLやQRコードを配布することで、簡単に教材をスマホ等で利用できます。

●GeoGebraの活用例1

私が教育実習に行った際の、中学2年生向けに作った教材を紹介します。下のURLから教材に飛べます。教材の中にある左上のボタンを押せば、グラフ上の点を動かしたり、 a の条件を変えたりできます。

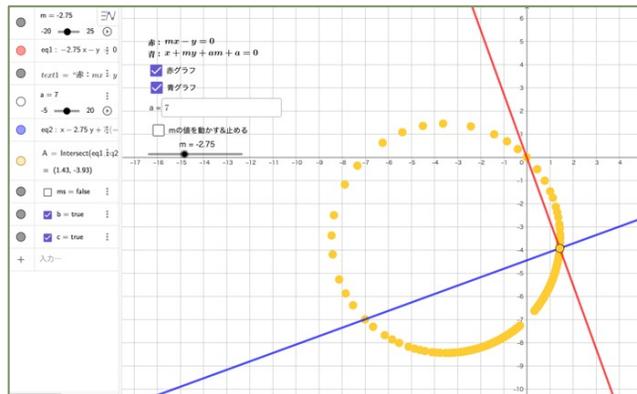
URL : <https://www.geogebra.org/m/gnejj546> (パソコン推奨)



●GeoGebraの活用例2

次に、二直線の交点によってできる軌跡を描画してみました。「 m の値を動かす&止める」ボタンを押すと、軌跡が現れます。 a の値は自由に変更できます。画面の左側には、数式ビューを表示させてみました。

URL : <https://www.geogebra.org/m/kpj8xyh3> (パソコン推奨)



GeoGebraではグラフの描画だけでなく、数値計算や統計処理などもできます。様々な活用例については[ホームページ](#)をご覧ください。ここまで読んでいただきありがとうございます。